

統合されたアクセスコントロールで生徒と学校を保護

Verkadaアクセスコントロールは、学校、キャンパス、建物全体にわたるアクセスベースのイベントをリアルタイムで可視化します。Verkadaの統合物理セキュリティプラットフォームを使用すると、学校の管理者は次のことを行えます。

- 物理的なロックとキーで保護されたドアを最新のアクセスコントロールに置き換えることで、作業を合理化し、可視性を向上させることができます。
- Verkada Command内からネイティブに学生および教員の ID バッジをデザイン、管理、印刷、発行します。
- リアルタイムのアラート、アラーム、または通知を使用して対応ポリシーを自動化します。
- モバイルやデスクトップからリモートでイベントを表示し、リアルタイムで応答できます。
- 簡単に設置できるワイヤレスロックで教室のドアを保護し、すべてのドアを1つのクラウドベースのプラットフォームに統合して管理を容易にします。

高等教育機関向けのVerkada



10年間の製品保証



ユーザー数の上限なし



ファームウェアとソフトウェアの自動更新



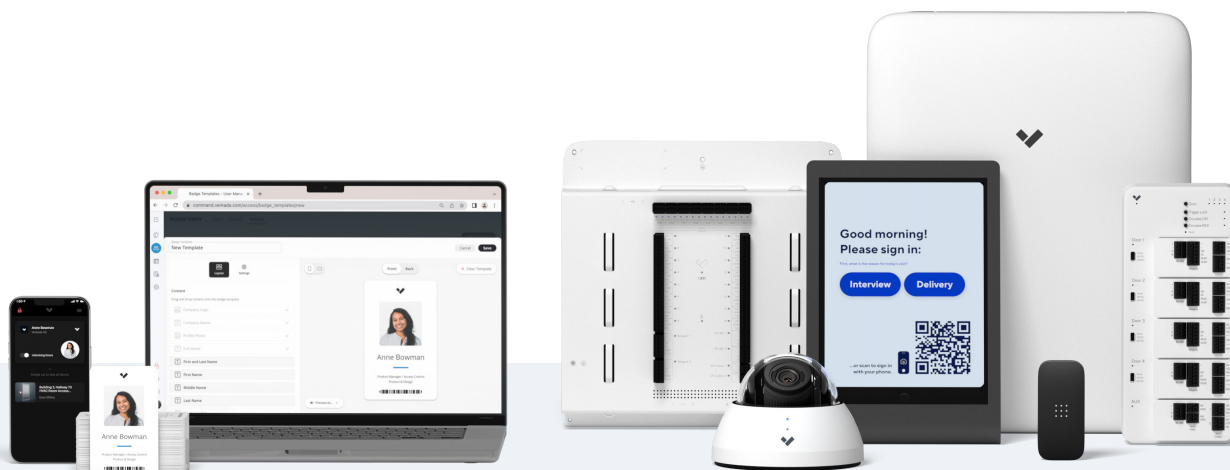
テクニカルサポート



10年間のTCOを削減



明確な更新費用



主要なメリット

ネイティブカメラ統合

数回クリックするだけでドアにカメラを追加して、アクセスイベントとビデオ映像をまとめます。

設置は簡単

Verkadaアクセスコントロールを使用すると、ドアを簡単かつ迅速に追加でき、ドアを数分でオンラインにできます。

一元化された管理

一元管理で複数の構内を管理できる、直感的なクラウドベースのソフトウェアプラットフォームをエンドユーザーに提供します。

わかりやすい料金体系

自動更新とすべてのハードウェアに対する業界トップの10年保証により、総所有コストが削減されます。

使いやすい

誰でも直感的に使えるソフトウェアプラットフォームで、ITチームへの依存を軽減します。

規模拡張しやすい

ドア、認証情報、サイトを必要なだけ追加できます。認証情報は、複数の学校サイトにわたってプロビジョニング、利用、監視できます。

使用事例

設定可能な緊急ロックダウン

1. カスタムのロックダウンシナリオを作成して、環境に適した対応計画を準備できます。
2. パニックボタン、Verkada Command、またはVerkada Pass アプリからロックダウンを発動します。
3. 教室と建物外のドアをロックダウンしますが、初期対応者は Verkadaのリモートロック解除機能を使用してアクセスすることができます。

学生とスタッフに直感的な認証情報を提供

生徒や教職員のバッジをデザイン、印刷、発行できます。Verkada Passアプリを導入することで、組織の全ユーザーがシンプルなBLEを活用したり、ハンズフリーまたはリモートでのロック解除ができるようになります。

すべてのキャンパスを一元的に監視

ドアが開いたままになっていたり、時間外の入室があったりした場合に、設定したSMSまたはEメールでの通知を受信できます。

設置場所

- 学校の出入り口
- 配線設備とサーバールーム
- カフェテリア、ジムなどの共用エリア

学校のすべてのドアを保護する

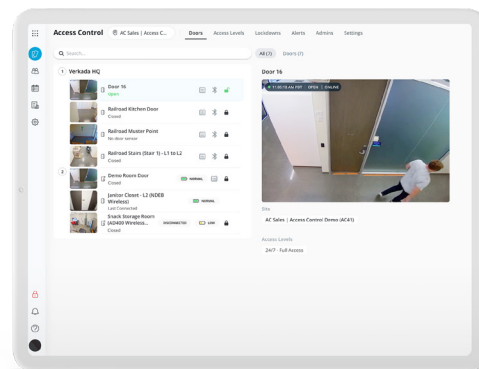
屋内ドア用の無線ロック、屋外用の標準的な有線アクセスコントロール、人の出入りが多いドアなど、あらゆるタイプのドアを保護します。アクセスコントロールで、校内のドアすべてで安全対策を実施しましょう。

認証情報管理の方法を簡素化

生徒や教職員のバッジをデザイン、印刷、発行したり、組織全体のユーザーがVerkada Passアプリから、簡素化されたBLEアクセスやハンドフリー、リモートロックを活用できるようにしましょう。

Azure AD、SCIM、SSOとの統合

SCIMおよびSSOの主要なプロバイダと統合して、ユーザーへの権限付与を合理化し、自動オフボーディングで責任を軽減します。



- 教室
- オフィス

お客様の声



Imperial County of Education (ICOE)

「無線ロックを統合することで、歴史的建造物やコンクリート建築の教室でも、さらに多くのドアをVerkadaの物理セキュリティプラットフォームで管理できるようになりました。その結果、室内ドアの状況確認とロックダウン機能などをきめ細かく制御可能になり、スタッフや学生の安全をさらに確保できるようになりました。」

最高技術責任者、Luis Alejandro Wong氏



グリーンフィールドコミュニティカレッジ

「再び緊急事態が発生した場合、キャンパスを即座にロックダウンできる必要があります。Verkadaには、私がアクセスシステムに求めていたものがすべて揃っていました。一元管理、クラウドベース、サーバー不要という環境のほか、直感的に操作ができるので1日がかりのトレーニングが不要というのも決め手でした。」

安全管理担当ディレクター
Alex Wiltz氏



MISSION DOLORES ACADEMY
In partnership with the Megan Furth Memorial Fund

ミッション・ドロレス・アカデミー

「鍵の作製や盗難時の鍵の再発行などにかかる費用は高額になります。現在では、キーレスカードを紛失した場合、アクセスを遮断することができます。また、生徒のファイルと金銭を別々の場所に保管するなどして、個人ごとにアクセスをカスタマイズし、機密性を確保できています。」

学校長、
Meredith Essalat氏